

都道府県名: 市区町村名: 事業実施主体名:

【事業収支の内訳】

収入内容		金額(円)			備考				
コミュニティ助成金(=A-B)					例)一般コミュニティ助成事業				
例)寄付金					例)〇〇月〇〇日現在〇〇円				
例)〇〇自治会一般会計(または特別会計)、積立金					例)〇〇月〇〇日残高〇〇円				
収入内容、備考:事業費総額からコミュニティ助成金を除いた、一般財源等充当額の内訳及び算定根拠を記載してください。									
エクセルの行は、必要に応じて追加・削除してください。(合計欄の計算式にご注意ください)									
事業収入合計(=事業費総額A)		0							
見積書 番号	備品・設備名、 費用区分	規格・仕様・ 形式・メーカー、 費用項目等	数量	単価(円)	金額(円)	対象外 経費	整備目的・用途	広報 表示	保管場所 設置場所 名称
1	物置							○	〇〇集会所敷地
1	テーブル							○	〇〇集会所
1	太鼓							○	〇〇集会所
1	太鼓バチ							○	〇〇集会所
2	防犯灯							○	〇〇集会所敷地、〇〇広場
2	既存防犯灯撤去					○			
3	除雪機							○	物置(今回整備)
見積書番号:見積書に付した番号を記載してください。									
備品・設備名:整備する備品・設備の名称を、原則見積書記載事項と一致するように、記載してください。									
規格・仕様・形式・メーカー等:原則見積書やカタログ等の記載事項と一致するように、記載してください。									
対象外経費:対象外となる経費に「○」を記載してください。(対象外経費合計②に計算されます)									
整備目的・用途:整備する備品・設備の、整備する目的や用途を簡潔に記載してください。									
広報表示:広報表示を行う備品・設備(原則すべての備品・設備となります)に「○」を記載してください。									
保管場所・設置場所名称:備品・設備の保管場所、設置場所の名称を記載してください。(下の保管場所・設置場所の説明と一致するようにしてください)									
エクセルの行は、必要に応じて追加・削除してください。(合計欄の計算式にご注意ください)									
対象経費合計①					0				
対象外経費合計②					0				
事業支出合計(①+②=事業費総額A)					0				

【備品・設備の保管場所・設置場所についての説明】

保管場所・設置場所名称	所在地(地番)	土地または建物の所有者	使用承諾の有無(無の場合の承諾予定日)	権利部(乙区)の有無(有の場合のその内容)	保管・設置場所の説明	管理方法
例)〇〇集会所敷地						
備品・設備の保管場所、設置場所をそれぞれ記載してください。						
「土地を要する場合」は土地、「建物を要する場合」は建物についての記載となります。						
所在地(地番):土地又は建物の所在地及び地番(登記簿謄本で確認)を記載してください。						
土地または建物の所有者:所有者(登記簿謄本で確認)を記載してください。						
使用承諾の有無(無の場合の承諾予定日):備品・設備を維持管理する団体と、土地又は建物の所有者が別となる場合に記載してください。						
権利部(乙区)の有無(有の場合のその内容):土地登記簿謄本を確認して、記載してください。(建物登記簿謄本の確認は不要)						
保管・管理場所の説明:保管・管理場所として選定した理由を記載してください。						
管理方法:管理規程に従って管理方法を簡潔に説明をしてください。(例えば、他の団体が所有する備品・設備と分別して管理を行う方法等)						
表は、保管場所・設置場所の数に応じて追加・削除してください。						
例)〇〇広場						
例)〇〇集会所						

記載の仕方

都道府県名:

市区町村名:

事業実施主体名:

【事業収支の内訳】

収入内容			金額(円)			備考			
コミュニティ助成金(=A-B)						例)コミュニティセンター助成事業			
例)〇〇自治会負担金(積立金)						例)〇〇円/月×〇〇戸×〇〇ヶ月、〇〇月〇〇日残高〇〇円			
例)〇〇銀行より借入						例)借入期間〇年予定、担保の有無について等			
例)〇〇市補助金(助成金)						例)〇〇月〇〇日補助(助成)決定予定			
収入内容、備考:事業費総額からコミュニティ助成金を除いた、一般財源等充当額の内訳及び算定根拠を記載してください。									
エクセルの行は、必要に応じて追加・削除してください。(合計欄の計算式にご注意ください)									
事業収入合計(=事業費総額A)			0						
見積書 番号	備品・設備名、 費用区分	規格・仕様・ 形式・メーカー、 費用項目等	数量	単価(円)	金額(円)	対象外 経費	整備目的・用途	広報 表示	保管場所 設置場所 名称
1	例)共通仮設								
1	例)建築本体工事								
1	例)電気設備工事								
1	例)機械設備工事								
1	例)諸経費								
1	例)外構工事					○			
1	例)既設建物解体 撤去工事					○			
2	テーブル							○	〇〇集会所
見積書番号:見積書に付した番号を記載してください。									
備品・設備名、費用区分:整備する備品・設備の名称、コミセン工事の費用区分を、原則見積書記載事項と一致するように、記載してください。									
規格・仕様・形式・メーカー、費用項目等:原則見積書やカタログ等の記載事項と一致するように、記載してください。 (費用項目が多数となる場合は、項目をまとめる等してください)									
対象外経費:対象外となる経費に「○」を記載してください。(対象外経費合計②に計算されます)									
整備目的・用途:整備する備品・設備の、整備する目的や用途を簡潔に記載してください。									
広報表示:広報表示を行う備品・設備(原則すべての備品・設備となります)に「○」を記載してください。									
保管場所・設置場所名称:備品・設備の保管場所、設置場所の名称を記載してください。									
エクセルの行は、必要に応じて追加・削除してください。(合計欄の計算式にご注意ください)									
対象外経費合計①					0				
対象外経費合計②					0				
事業支出合計(①+②=事業費総額A)					0				

【コミュニティセンターの建設・大規模修繕についての説明】

所在地(地番)			
土地の所有者			
使用承諾の有無(無の場合の承諾予定日)			
権利部(乙区)の有無(有の場合のその内容)			
土地面積	建物面積(計画)		
建物の構造			
建物の所有者(大規模修繕の場合)			
地縁団体認可の有無(無の場合の認可予定日)			
広報表示場所			

所在地(地番):土地の所在地及び地番(土地登記簿謄本で確認)を記載してください。

土地の所有者:所有者(土地登記簿謄本で確認)を記載してください。

使用承諾の有無(無の場合の承諾予定日):建物の所有者と土地の所有者が別となる場合に記載してください。

権利部(乙区)の有無(有の場合のその内容):土地登記簿謄本を確認して記載してください。

建物の所有者:大規模修繕の場合に、建物登記簿謄本を確認して記載してください。

地縁団体認可の有無(無の場合の認可予定日):認可地縁団体の認可状況を記載してください。

広報表示場所:宝くじの社会貢献広報表示を行う場所について、建物のどの場所か具体的に記載してください。

記載の仕方

都道府県名:

市区町村名:

事業実施主体名:

【事業収支の内訳】

収入内容			金額(円)			備考			
コミュニティ助成金(=A-B)						例) 青少年健全育成助成事業			
例) 参加者負担金等						例) 〇〇円×〇〇人			
例) 〇〇自治会一般会計						例) 〇〇月〇〇日残高〇〇円			
例) 〇〇市補助金(助成金)						例) 〇〇月〇〇日補助(助成)決定予定			
収入内容、備考: 事業費総額からコミュニティ助成金を除いた、一般財源等充当額の内訳及び算定根拠を記載してください。									
エクセルの行は、必要に応じて追加・削除してください。(合計欄の計算式にご注意ください)									
事業収入合計(=事業費総額A)			0						
見積書 番号	備品・設備名、 費用区分	規格・仕様・ 形式・メーカー、 費用項目等	数量	単価(円)	金額(円)	対象外 経費	整備目的・用途	広報 表示	保管場所 設置場所 名称
1	例) 報償費	例) 出演料							
1	例) 報償費	例) 講師謝礼							
2	例) 旅費	例) 出演者交通費							
2	例) 旅費	例) 講師宿泊費							
3	例) 委託料								
4	例) 消耗品費	例) 看板						○	
4	例) 消耗品費	例) チラシコピー用紙						○	
5	例) 役務費	例) パンフレット印刷代						○	
5	例) 役務費	例) ポスター印刷代						○	
6	例) 食糧費					○			
見積書番号: 見積書に付した番号を記載してください。									
費用区分: 費用区分を、原則見積書記載事項と一致するように、記載してください。									
費用項目等: 原則見積書と一致するように、記載してください。									
対象外経費: 対象外となる経費に「○」を記載してください。(対象外経費合計②に計算されます)									
整備目的・用途: 計上する経費の用途を簡潔に記載してください。									
広報表示: 広報表示を行う印刷物・作成物等(原則すべての印刷物・作成物等となります)に「○」を記載してください。									
保管場所・設置場所名称: 記載不要									
エクセルの行は、必要に応じて追加・削除してください。(合計欄の計算式にご注意ください)									
対象外経費合計②					0				
事業支出合計(①+②=事業費総額A)					0				